

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2020年2月25日

事業所名：パンダキッズ神戸

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2.9(8)	2.8(17)	今後も子ども達の人数や状況の変化に応じて部屋の配置を変える必要がある場合には適切な対応をする
	2 職員の適切な配置	2.9(8)	2.9(16)	引き続き、一人ひとりの専門性を高めていくことができるように研修や勉強会を行う
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	1.4(8)	2.9(17)	二階の部屋までの移動は階段のみであるため、移動の際には職員が細心の注意を払い見守る
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		2.9(17)	清潔さを保つことができるように引き続き、適切な掃除を行う
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2.9(8)		業務改善について職員一人ひとりが意見を持って参加できるように連携をとる
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2.5(8)		外部評価を取り入れることができるように検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	2.4(8)		研修の機会を確保し、そこで学んだことを全職員で共有できる機会を引き続き作る
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	2.9(8)	3.0(17)	引き続き、日々の子どもの姿や保護者との関わりの中から課題を見つけて、必要な計画を作成する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	2.8(8)		今後も計画を立てる際には職員でよく話し合っ適切な活動を取り入れることができるようする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施		3.0(17)	引き続き、適切な支援を行うことができるように計画を立てる
	4	チーム全体での活動プログラムの立案	2.8(8)		今後もチーム全体でプログラムを立てることができるようにする
	5	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	2.6(8)	3.0(15)	継続してきめ細やかな支援ができるよう努める
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	2.6(8)		今後も充実した様々なプログラムを実施できるようにする
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	3.0(8)		引き続き連携をとって支援内容や役割を確認することで適切な支援に繋がるよう努める
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	2.5(8)		今後も職員間で情報の共有事項を洩れることなく継続して行う
	9	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3.0(8)		正確な記録、支援改善のための話し合いを継続して行う
	10	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	2.9(7)		定期的なモニタリングの実施や計画の見直しを引き続き行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	2.9(8)		今後も最も相応しい者が会議に参加できるようにする
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2.6(8)		今後、様々な専門機関との連携をとることができるように努める
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	1.9(8)	2.6(8)	交流の機会を作ることができるように検討する
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1.8(8)		現在行っている交流をさらに深く継続できるものになるよう努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	3.0(7)	2.9(17)	今後もわかりやすい説明ができるように努める
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		3.0(17)	引き続き、保護者の方の立場に立ってわかりやすい言葉で説明を行う
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2.3(8)	2.7(12)	今後も保護者の方に必要な支援を継続して行うことができるようにする
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	3.0(8)	3.0(17)	引き続き子どもの様子をよく理解して保護者の方に伝えられるようにする
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	2.8(8)	3.0(17)	保護者の方との関わりを大切に引き続き必要な支援を行うことができるよう努める
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1.4(8)	2.0(11)	保護者会などの開催を検討する
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	3.0(8)	3.0(12)	今後も丁寧に対応できるようにする
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	2.9(8)	3.0(17)	情報を伝える際の細やかな配慮を継続して行う
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	2.9(7)	3.0(17)	引き続き、より良い会報を発行できるよう努力する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	2.9(8)	3.0(17)	今後も十分に対応できるようにする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	2.5(8)	2.6(15)	緊急時の対応についてわかりやすく事前に伝えられるよう検討し行う
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	3.0(8)	2.9(16)	災害時についての訓練を引き続き月一回のペースで行うことができるようにする
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	2.8(8)		虐待防止についての意識を高められるように今後も必要な研修を行う
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当なし		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	2.9(8)		引き続き適切な対応ができるよう努める
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	2.9(8)		今後もヒヤリハットを事業所内で共有する